



平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場取引所 東 福

上場会社名 グリーンランドリゾート株式会社
コード番号 9656 URL <http://www.greenland.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 江里口俊文

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 渡邊和雄

TEL 0968-66-2111

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	5,776	△7.0	194	△46.0	153	△52.7	91	△59.7
25年12月期第3四半期	6,210	5.0	359	45.5	323	64.2	227	63.4

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 101百万円 (△60.4%) 25年12月期第3四半期 256百万円 (72.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	8.87	—
25年12月期第3四半期	22.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第3四半期	21,494	10,363	48.2	1,002.54
25年12月期	21,800	10,355	47.5	1,001.72

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 10,363百万円 25年12月期 10,355百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	4.00	—	6.00	10.00
26年12月期	—	3.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	5.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,820	△0.7	320	△11.3	280	△9.6	180	△6.1	17.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期3Q	10,346,683 株	25年12月期	10,346,683 株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	9,149 株	25年12月期	9,149 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期3Q	10,337,534 株	25年12月期3Q	10,217,534 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表に対する監査手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、〔添付資料〕3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におきましては、九州で繁忙期の春休み・ゴールデンウィーク・お盆を含む夏休み等に悪天日が多く、また7・8月の台風接近もあり、特に遊園地とホテルの利用者数が減少しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、5,776,836千円（前年同期比7.0%減）となりました。

損益面につきましては、営業利益は194,203千円（前年同期比46.0%減）、経常利益は153,082千円（前年同期比52.7%減）、四半期純利益は91,703千円（前年同期比59.7%減）となりました。

	前第3四半期 連結累計期間 (千円)	当第3四半期 連結累計期間 (千円)	増減額 (千円)	増減率 (%)
売上高	6,210,898	5,776,836	△434,062	△7.0
営業利益	359,282	194,203	△165,078	△46.0
経常利益	323,316	153,082	△170,234	△52.7
四半期純利益	227,641	91,703	△135,938	△59.7

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結累計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

①遊園地セグメント

北海道の遊園地では重要日が天候に恵まれ堅調に推移したものの、九州の遊園地で繁忙期にあたる春休み・ゴールデンウィーク・夏休み等で悪天日が多く入園者数が減少したため、当セグメントの売上高は前年同期比386,795千円減収（△11.0%）の3,128,838千円となりました。

損益面につきましては、営業利益は前年同期比104,053千円減益（△23.0%）の347,875千円となりました。

②ゴルフセグメント

3ゴルフ場におきましては、相互施設利用契約締結による集客強化や最近の為替動向が円安であることなどにより、韓国からのプレーヤーが大幅に増加しましたが、週末の天候不良により入場者総数は微減となりました。しかしながら、客単価増加の取り組みが功を奏し、当事業の売上高は前年同期比11,736千円増収

(+1.7%)の707,888千円となりました。損益面につきましては、売上の増加に加え昨年より経費の見直しに積極的に取り組んだ結果、営業損失は前年同期比18,574千円損失減の22,987千円となりました。

③ホテルセグメント

九州で昨年12月より遊園地内の大型ショップ2店舗の営業を引き継いだことや北海道で4月より新たに北村中央公園・桜づつみ公園の指定管理者を受託したこと等の売上増加要因はありましたが、九州のホテル利用者数が減少したため、当セグメントの売上高は前年同期比4,836千円減収（△0.3%）の1,582,609千円となりました。損益面では、九州のホテル利用者数の減少により営業損失は22,059千円（前年同期は営業利益42,671千円）となりました。

④不動産セグメント

不動産セグメントにおきましては、土地賃貸収入の減少により、売上高は6,280千円減収（△5.0%）の120,510千円となり、営業利益は前年同期比17,840千円減益（△20.1%）の71,013千円となりました。

⑤土木・建設資材セグメント

土木・建設資材セグメントにおきましては、一部受注工事の終了により、売上高は前年同期比47,884千円減収（△16.8%）の236,989千円となりましたが、営業利益は前年同期比8,910千円増益（+27.7%）の41,074千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 流動資産

流動資産は、561,003千円（前連結会計年度末比181,208千円減少）となりました。主な要因は、現金及び預金で94,046千円、受取手形及び売掛金で90,895千円減少したことによるものであります。

② 固定資産

固定資産は、20,933,678千円（前連結会計年度末比124,661千円減少）となりました。主な要因は、有形固定資産の減価償却等で154,644千円減少したことによるものであります。

③ 流動負債

流動負債は、4,564,956千円（前連結会計年度末比31,507千円増加）となりました。主な要因は未払法人税等で109,454千円減少したものの、短期借入金で169,712千円増加したことによるものであります。

④ 固定負債

固定負債は、6,565,947千円（前連結会計年度末比345,871千円減少）となりました。主な要因は長期借入金で211,583千円減少、長期預り金で139,800千円減少したことによるものであります。

⑤ 純資産

純資産は、10,363,778千円（前連結会計年度末比8,493千円増加）となりました。主な要因はその他有価証券評価差額金で9,828千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期の業績予想につきましては、平成26年2月14日に公表いたしました数値から変更はありません。なお、業績予想につきましては、現時点において得られた情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の経済情勢の変化や事業運営におけるさまざまな状況変化によって、予想の数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

（連結納税制度の適用）

当社及び連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、当社を連結親会社とした連結納税制度を適用しております。

（法定実効税率の変更に伴う影響）

「所得税法等の一部を改正する法律」が平成26年3月31日に公布され、平成26年4月1日以後に開始する連結会計年度から復興特別法人税が課されないこととなりました。これに伴い、当連結会計年度の繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用した法定実効税率は、平成27年1月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異について、37.75%から35.38%に変更されております。これによる影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	241,291	147,245
受取手形及び売掛金	291,266	200,371
商品及び製品	37,236	17,693
原材料及び貯蔵品	57,395	51,629
販売用不動産	7,130	7,130
繰延税金資産	24,959	23,022
その他	95,880	120,053
貸倒引当金	△12,948	△6,142
流動資産合計	742,212	561,003
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,486,211	4,331,477
機械装置及び運搬具(純額)	415,261	388,383
土地	15,073,825	15,083,485
その他(純額)	152,356	169,664
有形固定資産合計	20,127,654	19,973,009
無形固定資産		
その他	227,098	228,259
無形固定資産合計	227,098	228,259
投資その他の資産		
投資有価証券	267,489	282,842
繰延税金資産	302,641	303,037
その他	143,240	147,628
貸倒引当金	△9,783	△1,100
投資その他の資産合計	703,586	732,408
固定資産合計	21,058,339	20,933,678
資産合計	21,800,551	21,494,681

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	81,455	66,806
営業未払金	100,271	131,458
短期借入金	3,767,513	3,937,225
未払金	308,933	260,822
未払法人税等	118,965	9,510
賞与引当金	—	30,657
役員賞与引当金	10,630	—
その他	145,679	128,475
流動負債合計	4,533,448	4,564,956
固定負債		
長期借入金	3,408,796	3,197,213
長期預り金	3,295,991	3,156,191
退職給付引当金	9,059	8,569
その他	197,970	203,973
固定負債合計	6,911,818	6,565,947
負債合計	11,445,266	11,130,903
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,180,101	4,180,101
資本剰余金	4,767,834	4,767,834
利益剰余金	1,384,246	1,382,911
自己株式	△2,992	△2,992
株主資本合計	10,329,189	10,327,854
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,095	35,923
その他の包括利益累計額合計	26,095	35,923
純資産合計	10,355,285	10,363,778
負債純資産合計	21,800,551	21,494,681

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	6,210,898	5,776,836
売上原価	5,406,828	5,138,407
売上総利益	804,070	638,429
販売費及び一般管理費	444,788	444,225
営業利益	359,282	194,203
営業外収益		
受取利息	82	33
受取配当金	4,285	4,253
受取賃貸料	2,965	2,863
受取保険金	14,119	1,442
助成金収入	1,941	—
雑収入	3,243	3,623
営業外収益合計	26,638	12,216
営業外費用		
支払利息	61,429	52,680
雑損失	1,174	657
営業外費用合計	62,603	53,338
経常利益	323,316	153,082
特別利益		
固定資産売却益	9,073	5,400
受取保険金	60,541	—
その他	8,243	—
特別利益合計	77,858	5,400
特別損失		
固定資産除売却損	1,011	5
災害による損失	11,187	—
廃棄費用	5,559	—
ゴルフ会員権評価損	—	45
特別損失合計	17,758	50
税金等調整前四半期純利益	383,416	158,431
法人税、住民税及び事業税	150,946	60,334
法人税等調整額	4,828	6,394
法人税等合計	155,775	66,728
少数株主損益調整前四半期純利益	227,641	91,703
四半期純利益	227,641	91,703

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	227,641	91,703
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28,765	9,828
その他の包括利益合計	28,765	9,828
四半期包括利益	256,406	101,531
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	256,406	101,531
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	遊園地事業	ゴルフ事業	ホテル事業	不動産事業	土木・建設 資材事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	3,515,633	696,152	1,587,446	126,791	284,874	6,210,898	—	6,210,898
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,546	8,461	35,195	15,786	13,874	77,864	△77,864	—
計	3,520,180	704,613	1,622,641	142,577	298,749	6,288,762	△77,864	6,210,898
セグメント利益又は損失(△)	451,929	△41,562	42,671	88,853	32,164	574,056	△214,773	359,282

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△211,131千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	遊園地事業	ゴルフ事業	ホテル事業	不動産事業	土木・建設 資材事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	3,128,838	707,888	1,582,609	120,510	236,989	5,776,836	—	5,776,836
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,432	8,528	18,733	4,740	8,154	43,588	△43,588	—
計	3,132,270	716,416	1,601,342	125,251	245,144	5,820,425	△43,588	5,776,836
セグメント利益又は損失(△)	347,875	△22,987	△22,059	71,013	41,074	414,916	△220,712	194,203

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△221,553千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

グループ再編の一環として、平成25年4月1日に連結子会社である有明リゾートシティ株式会社が連結子会社であるグリーンランドサービス株式会社を吸収合併し、「その他の事業」のうち、大部分を占めていた労働者派遣業務を廃止いたしました。

第1四半期連結会計期間より、報告セグメント区分の見直しを行い、有明リゾートシティ株式会社の「遊園地事業」を「ホテル事業」に変更しております。また、「その他の事業」につきましては、労働者派遣業務の廃止により量的な重要性がなくなったため、「ホテル事業」に含めております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。